

◆道路排水問題

問 今後の道路整備計画はどのようになっているのか。

市長 道路整備計画は、広域的な移動が円滑にできる道路網の実現として県と協力して、東西方向の主要幹線である県道のバイパス整備を一層強め、早期に完成を目指すとともに、市道114号線、115号線、文違1号線をはじめとする国県道の補助的役割を果たす幹線の道路・交差点の改良、歩道整備を進め、交通ネットワークの形成に努めたいと考えています。また、生活道は、維持補修、円滑な通行のための幅員確保や退避所設置など地域の特性に合った整備を考えています。

問 今後の排水整備計画は、公共下水道事業と連携を図り、計画的な雨水貯留施設や排水路の整備を進め、道路整備と併せた道路排水施設の新設、改修など効率的に進めることにより、集中豪雨などによる被害の縮小に努めたいと考えています。さらに透水性舗装、浸透枡などの流出抑止施設や調整池の整備は、公共施設はもと

より市民の方々にも協力していただけるよう指導、啓発に努めます。

◆市民の健康管理

問 子宮がん検診を個別検診にする計画はないか。

市長 現在、子宮がんの集団検診は、より多くの方々を受診できるよう平日及び土曜、日曜日でも実施していますが、平成18年度から市内の関係医療機関の協力を得て、集団検診の実施期間中に何らかの都合で受診することができなかった方や、専門の医療機関で受診したい方等に集団検診とあわせて、個別検診を実施し検診の精度を高め、子宮がんの早期発見・予防に努めたいと考えています。

個人
質問
中田 眞司

◆道路問題について

問 狭隘な道路にもかかわらず交通量の多い通学道路に対して、時間制限での車両の進入規制は出来ないか。

市長 車両の通行を禁止するには警察による規制が必要で、規制をかけるには地域住民の総意が必要であり、1人でも反対意見がある場合



▲中央公民館脇の規制道路

備と貴重な文化財の野馬土修復計画は。

市長 この道路整備は、前提となる境界確定を平成17年度に実施し、ほかの路線との優先順位等を考慮し検討します。野馬土手の保護は、境界確定後、車両が進入できないよう暫定的な対策をし、本格的な対策は教育委員会と協議します。

◆道路網整備について

問 八街バイパスの進捗状況と全面開通の見通しは。

市長 平成16年12月末で、県が直接事業を進めている道路事業は、買収率60%、市が用地事務を受託している街路事業は、買収率は、買収率90%です。工事は今年度、JR橋りょう部の二区側の



▲JR橋りょう部の二区側橋台工事

橋台工事に着手し、国道409号より東側の部分供用も視野に入れて、早期に整備を進めたいと県より聞いています。市では、今後も引き続き地元関係者の皆さんに十分なご理解とご協力を得られるよう鋭意努力をするとともに、県と連携を図りバイパス整備を促進し、早期に供用開始できるように取り組めます。

◆屋外への住所表示について

問 電柱やカーブミラーに住所の設置を望むが如何か。

市長 設置はどのような場所に、どのように表示すれば利用しやすいのか、また、

表示板の設置や維持管理に要する経費もかかるので、費用対効果も含め、今後、研究したいと考えています。

◆農業問題について

問 高齢化が進み後継者不足の中、遊休農地の拡大が心配されるが今後の対策は。

市長 市では機械化、施設化による生産体制整備を推進し、省力化と農産物の高品質化を図り、高所得農業を実現できるよう、農業経営の安定化を支援しています。また、認定農業者等地域農業の担い手に対しては、経営規模の拡大や農業生産の効率化等に必要な農地を確保し、創意工夫を発揮した経営展開が実現可能なよう、農地の利用集積を推進しています。

今後とも農業・農村の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、農業振興地域整備計画との調整を図り、計画的な土地利用に基づいた効果的な遊休農地解消のため努めたいと考えています。

問 遊休農地を利用して市民農園の開設を望むがどうか。

市長 市民農園の開設とい